

エコアクション21

2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年10月 ～ 2024年9月)

株式会社マツダアンフィニトミセキ

エコアクション21事務局

発行日 : 2024年 11 月 1 日

目次

1. 対象組織・活動範囲
2. 実施体制
3. 環境方針
4. 環境目標(中期目標)
5. 環境活動計画
6. 環境目標・環境活動計画 実績評価
7. 環境関連法規等の違反訴訟の有無
8. 代表者の評価と見直し

1.対象組織・活動範囲



事業社名及び代表者		所在地																			
株式会社マツダアンフィニトミセキ 山室店、カーセブン富山インター店 サイト認証(本社、高岡店は対象としない) 代表取締役社長 長沼 克博		マツダアンフィニトミセキ 〒 930-0039 富山市東町1丁目2番20号																			
事業内容		事業の規模																			
マツダブランドの新車販売 中古自動車販売 自動車整備業(車検・点検・修理等) 自動車保険の代理店業務 自動車部品、用品の販売		<table><tr><td>店舗名</td><td>山室店</td><td>インター店</td></tr><tr><td>従業員数</td><td>10 名</td><td>8 名</td></tr><tr><td>社屋床面積(サービス工場)</td><td>128 m²</td><td>155 m²</td></tr><tr><td>社屋床面積(ショールーム)</td><td>415 m²</td><td>400 m²</td></tr><tr><td>年間新車/中古車販売台数</td><td>161 台</td><td>88 台</td></tr><tr><td>年間整備入庫台数</td><td>3,691 台</td><td>1,758 台</td></tr></table> 従業員 2024年10月現在 販売、入庫台数 2023年10月～2024年9月		店舗名	山室店	インター店	従業員数	10 名	8 名	社屋床面積(サービス工場)	128 m ²	155 m ²	社屋床面積(ショールーム)	415 m ²	400 m ²	年間新車/中古車販売台数	161 台	88 台	年間整備入庫台数	3,691 台	1,758 台
店舗名	山室店	インター店																			
従業員数	10 名	8 名																			
社屋床面積(サービス工場)	128 m ²	155 m ²																			
社屋床面積(ショールーム)	415 m ²	400 m ²																			
年間新車/中古車販売台数	161 台	88 台																			
年間整備入庫台数	3,691 台	1,758 台																			
環境管理責任者及び担当者																					
環境管理責任者		五十嵐 万人																			
EA21環境推進事務局	サービス部門	松浦 俊明																			
	営業部門	藤井友宏																			
	業務担当	館盛 葵																			
連絡先	TEL : 076-424-1001 FAX: : 076-493-7797 e-mail : igarashi.ka@mazda-eftomiseki.jp																				



写真などを貼付して下さい

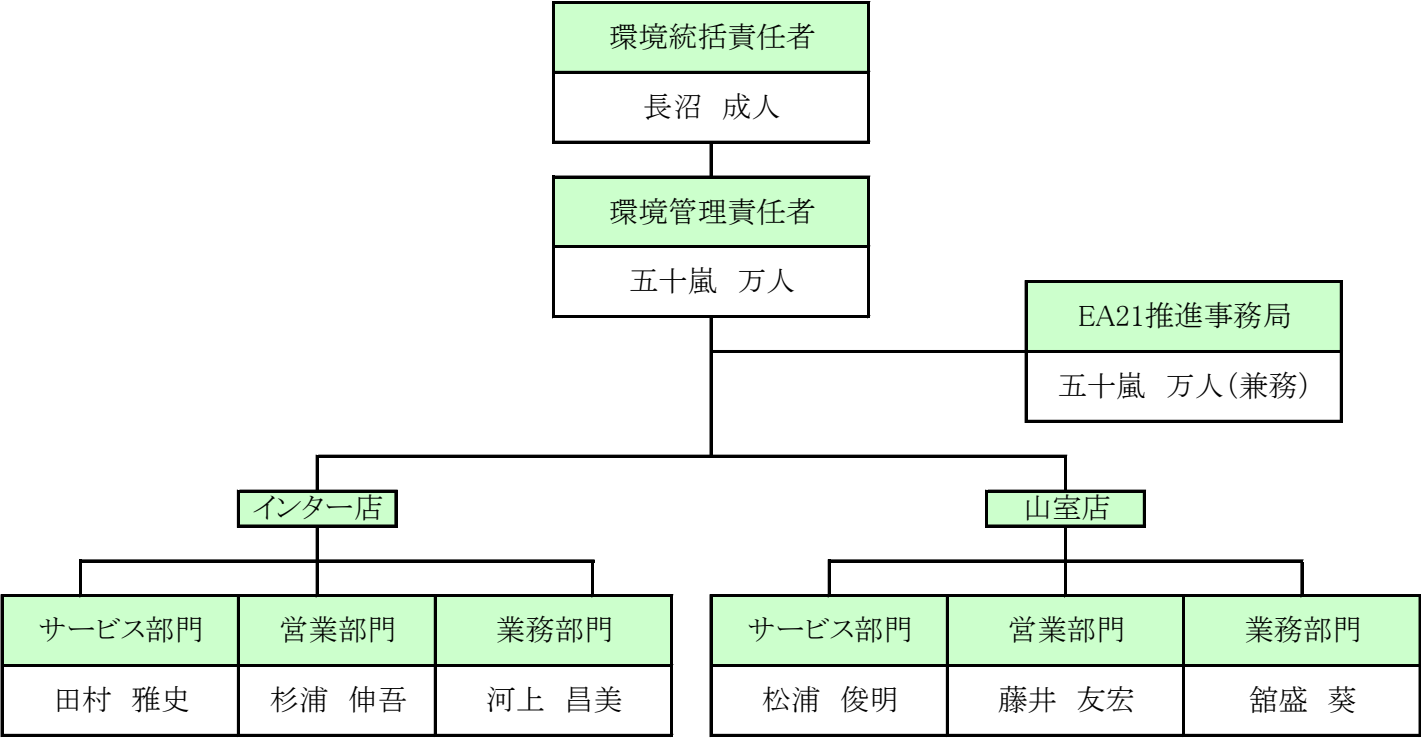


EA21対象事業所

	郵便番号	住所	電話番号	19年度 対象店	20-23年度 対象店舗	24年度 対象店舗
本社	〒939-0039	富山市東町1丁目2番20号	076-431-1171			
マツダアンフィニトミセキ山室店	〒939-8006	富山市山室292-2	076-424-1001	○	○	○
カーセブン インター店	〒939-8212	富山市掛尾町335	076-422-1251		○	○
カーセブン 高岡店	〒933-0846	高岡市扇町1丁目15-11	0766-24-1087			

	従業員数	事業内容
マツダアンフィニトミセキ山室店	10人	新車販売 自動車整備業(車検・点検・修理等 自動車保険の代理店業務 自動車部品、用品の販売 中古自動車買取
カーセブン インター店	8人	中古車販売 自動車整備業(車検・点検・修理等 自動車保険の代理店業務 自動車部品、用品の販売 中古自動車買取
カーセブン 高岡店	8人	中古車販売 自動車整備業(車検・点検・修理等 自動車保険の代理店業務 自動車部品、用品の販売 中古自動車買取

2.実施体制



担当者	役割
環境統括責任者	環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 - EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 - 環境管理責任者の任命 - 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境目標の設定を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する(※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲) - EMSの構築、実施、管理 - 環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境取組を推進する - 環境取り組みの指導・支援 - 環境データの集計・取りまとめ
部門担当者	全社の環境取り組みを推進する 担当部門の環境取り組みの責任者

3.環境経営方針

基本理念

株式会社マツダアンフィニトミセキは、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

行動指針

- 1 環境に関する法規制を遵守します。
- 2 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
- 3 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
- 4 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
- 5 環境に配慮した製品の提供を推進します。
- 6 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
- 7 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

2020/10/1(改正)

株式会社マツダアンフィニトミセキ

代表取締役専務 長沼 成人

4.中期計画3年（インター店）

作成日:2022年 11月 1日

承認	作成
長沼	五十嵐

		基準年度		年度目標					
EA21負荷の自己チェック コア指標		2022年		2023年		2024年		2025年	
		実績		基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値
二酸化炭素排出量	電力	CO2排出量 (kg-co2)	50,152	99%	49,651	98%	49,149	97%	48,648
		使用電力量 (kwh)	104,484	99%	103,439	98%	102,394	97%	101,349
	自動車燃料	CO2排出量 (kg-co2)	21,373	99%	21,159	98%	20,945	97%	20,732
		ガソリン(ℓ)	6,736	99%	6,669	98%	6,602	97%	6,534
		軽油(ℓ)	1,429	99%	1,415	98%	1,401	97%	1,387
		灯油(ℓ)	767	99%	759	98%	752	97%	744
	lpg (m³)		11.06	99%	10.95	98%	10.84	97%	10.73
	排出量合計 (kg-co2)		71,525	99%	70,810	98%	70,095	97%	69,379
廃棄物 排出量	一般廃棄物	排出量(kg)	504	99%	499	98%	494	97%	489
	産業廃棄物	排出量(kg)	8,700	99%	8,613	98%	8,526	97%	8,439
	排出量合計(kg)		9,204	99%	9,112	98%	9,020	97%	8,928
排水量	水使用量	排出量(m³)	320	99%	317	98%	314	97%	310
環境配慮資材購入	エコ整備(点検 入庫台数)	台	113	105%	119	110%	125	115%	131
整備入庫台数		台	1,908	102%	1946	104%	1,984	108%	2,061
低公害車の販売		台	112	105%	118	110%	123	115%	129

(注) 二酸化炭素排出係数は、ENEOSでんきの2020年度の実排出係数0. 480を使用。

(注)「環境目標設定書」は、毎年実施する「代表者による見直し」の結果を踏まえ、目標数値を見直します。

(注) 化学物質は使用していません。

4.中期計画3年(山室店)

作成日:2022年 11月 1日

承認	作成
長沼	五十嵐

		基準年度		年度目標					
EA21負荷の自己チェック コア指標		2022年		2023年		2024年		2025年	
		実績		基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値
二酸化炭素排出量	電力	CO2排出量 (kg-co2)	34,982	99%	34,633	98%	34,283	97%	33,933
		使用電力量 (kwh)	72,880	99%	72,151	98%	71,422	97%	70,694
	自動車燃料	CO2排出量 (kg-co2)	53,924	99%	53,385	98%	52,845	97%	52,306
		ガソリン(ℓ)	5,802	99%	5,744	98%	5,686	97%	5,627
		軽油(ℓ)	2,851	99%	2,822	98%	2,794	97%	2,765
		灯油(ℓ)	13,149	99%	13,018	98%	12,886	97%	12,755
		lpg (m³)	33.1	99%	32.77	98%	32.44	97%	32.11
		排出量合計 (kg-co2)	88,906	99%	88,017	98%	87,128	97%	86,239
廃棄物 排出量	一般廃棄物	排出量(kg)	324	99%	321	98%	318	97%	314
	産業廃棄物	排出量(kg)	14,600	99%	14,454	98%	14,308	97%	14,162
		排出量合計(kg)	14,924	99%	14,775	98%	14,626	97%	14,476
排水量	水使用量	排出量(m³)	454	99%	449	98%	445	97%	440
環境配慮資材購入	エコ整備(点検 入庫台数)	台	123	105%	129	110%	136	115%	142
整備入庫台数		台	3,689	102%	3763	104%	3,837	108%	3,984
低公害車の販売		台	139	105%	146	110%	153	115%	160

(注) 二酸化炭素排出係数は、ENEOSでんきの2020年度の排出係数0.480を使用。

(注)「環境目標設定書」は、毎年実施する「代表者による見直し」の結果を踏まえ、目標数値を見直します。

(注)化学物質は使用していません。

5.環境経営計画（山室店 & インター店）

当社の主要な環境活動計画の内容は以下の通りです。

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 電気使用料の削減

- ・電気メーターの確認・記録
- ・メジャーサインの点灯、消灯時間の見直しを行う。
- ・不要な照明の消灯・節電の徹底。（昼休みの不要照明の消灯）
- ・冷暖房設備の温度を管理する。
- ・OA機器類自動電源OFFの設定

2) 化石燃料使用料の削減

- ・エコドライブの実践。（エコドライブ10のすすめ」を実践）
- ・アイドリングストップの徹底
- ・社用車のタイヤ空気圧、不要な積載物の有無のチェック管理を行う。
- ・代車の燃料管理の徹底(満タン渡し/満タン返し)
- ・代車管理の徹底(不要な貸出はしない)

2.廃棄物排出量の削減

1) 一般廃棄物排出量の削減

- ・資源ゴミ（新聞紙、雑誌等）の徹底した分別処理。
- ・不要紙の利用。（裏紙の使用）
- ・ダンボール、雑誌類、ペットボトル等の再資源化の徹底。

2) 産業廃棄物のリサイクル率の向上

- ・分別の徹底回収による再資源化の推進。
- ・産業廃棄物業者の見直しと適正処理の確認。

3.排水量の削減（水 使用量の削減）

- ・節水意識の向上。（節水掲示）
- ・水道メーターの確認による漏水の確認
- ・洗車用ノズルの取付

4.その他の環境活動

- ・低公害車の販売促進。（ECOカー販売）
- ・エコタイヤ・エコオイルの販売促進。
- ・自動車リサイクル部品の販売促進。
- ・事務用品のグリーン購入品目の拡大
- ・パッケージの販売促進

6.環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(インター)

■ 2023年10月から2024年9月までの12ヶ月間の運用期間の実績

店舗	単位	①温室効果 ガス排出量	②廃棄物排出量③総排水量(水使			⑤エネルギー使用					⑧総製品販売量		
		kg-CO2	一般廃棄物 kg	産業廃棄物 kg	水使用量 m ³	購入電力 kWh	LPガス m ³	ガソリン ℓ	軽油 ℓ	灯油 ℓ	販売台数 台	低公害整備 台	入庫台数 台
	基準年 (2022)	71,525	504	8,700	320	104,484	11.1	6,736	1,429	767	112	113	1,908
	目標	70,095	494	8,526	314	102,394	10.84	6,602	1,401	752	119	118	1,984
	削減率	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	10%	10%	4%
	今年	50,330	156	3,660	261	83,923	12.60	2,921	751	491	88	171	1,758
	削減率	-28.2%	-68.4%	-57.1%	-16.9%	-18.0%	16.2%	-55.8%	-46.4%	-34.7%	-26.1%	44.9%	-11.4%
	基準年比	70%	31%	42%	82%	80%	114%	43%	53%	64%	79%	151%	92%
	目標比	71.8%	31.6%	42.9%	83.1%	82.0%	116.2%	44.2%	53.6%	65.3%	73.9%	144.9%	88.6%
	評価	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、ENEOSでんきの2020年度の排出係数0.480を使用。

1)二酸化炭素の排出量の削減

目標比の71%を達成。
エネルギー使用量全体を削減できたのが要因。
来年度もさらなる削減に努める。

2)電気量の削減

目標比82%を達成。
来年度も同様に削減意識の徹底に努める。

3)軽油の削減

目標比53%を達成。
満タン返しの徹底によるもの。

4)灯油の削減

目標比65%の達成。
暖冬による影響もあるが来年度も削減意識の徹底に努める。

5)ガソリンの使用量の削減

目標比44%の達成。
満タン返しの徹底によるもの。

6)(一般廃棄物、産業廃棄物)排出量の削減

目標比に対して大幅な削減。
来年度もこの水準を保てるよう努める。

7)水の使用量

目標比に対して83%の達成。
来年度以降も削減意識の徹底に努める。

8)LPガス使用量

目標比に対し116%の目標未達。

削減意識の徹底をはかる。

9)販売台数

目標比に対して74%の未達。

中古車市場の高騰等により販売不振。

努力するしかない。

10) 低公害整備

目標比に対し145%の達成。

メンテナンスパック拡販徹底の効果がでてきた。

引き続きメンテナンスパック付帯率を上げる。

11)入庫台数

目標比88%の未達。

昨年とほぼ同数の入庫台数なので、サービスのキャパシティ的には限界なのかもしれない。

作業効率の向上で入庫台数を増やせるよう努める。

6.環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況、その評価結果(山室店)

■ 2023年10月から2024年9月までの12ヶ月間の運用期間の実績

店舗	単位	①温室効果 ガス排出量	②廃棄物排出量③総排水量(水使			⑤エネルギー使用					⑧総製品販売量		
		kg-CO2	一般廃棄物 kg	産業廃棄物 kg	水使用量 m ³	購入電力 kWh	LPガス m ³	ガソリン ℓ	軽油 ℓ	灯油 ℓ	販売台数 台	低公害整備 台	入庫台数 台
	基準年 (2022)	88,906	324	14,600	454	72,880	33	5,802	2,851	13,149	139	123	3,689
	目標	87,128	318	14,308	445	71,422	32.44	5,686	2,794	12,886	153	136	3,837
	削減率	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	△2%	10%	10%	4%
	今年	76,195	96	8,860	493	54,276	37.0	5,437	2,939	11,889	161	324	3,691
	削減率	-12.5%	-69.8%	-38.1%	10.8%	-24.0%	14.1%	-4.4%	5.2%	-7.7%	5.2%	138.2%	-3.8%
	基準年比	85.7%	29.6%	60.7%	108.6%	74.5%	112.1%	93.7%	103.1%	90.4%	115.8%	263.4%	100.1%
	目標比	87.5%	30.2%	61.9%	110.8%	76.0%	114.1%	95.6%	105.2%	92.3%	105.2%	238.2%	96.2%
	評価	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、ENEOSでんきの2020年度の排出係数0.480を使用。

■取組結果の評価

1)二酸化炭素の排出量の削減

基準年比85.7%、目標比87.5%の削減達成。

昨年ショールームのLED化に加え節電意識の強化による結果と考える。

他の項目も削減意識の徹底により、来年度も削減に努める。

2)電気量の削減

昨年に続き順調に削減できている。

電気料金の高騰により削減意識が高まってきているのが要因と考えられる。

引き続き節電意識をもって削減に努める。

3)軽油の削減

基準年比でも目標年比でも使用量の増加。

代車や試乗車の軽油車が増加したことが要因と考えられる。

来年度以降は代車の燃料満タン返しの徹底に努める。

4)灯油の削減

目標に対し7.7%の削減に成功。

暖冬により使用量が減ったことが要因。

5)ガソリンの使用量の削減

代車と試乗車のガソリン車減から軽油車増による影響が大きい。

6)(一般廃棄物、産業廃棄物)排出量の削減

一般廃棄物においては削減に成功。

産業廃棄物はオイルの量が減少が大きいですが、入庫台数も減っているため、

産業廃棄物事態の減少で考えると喜ばしいが、営業利益点の面で見ると悩ましい。

廃油を減らすよりも金属屑の排出量を減らすことを意識する。

7)水の使用量

目標未達。削減意識の低下によるものが大きいと考えられる。
来年度以降削減意識の徹底を図る。

8)LPガス使用量

目標未達。
削減意識の徹底に努める。

9)販売台数

目標比に対し5.2%増。
久方ぶりに新型車が出たのが大きな要因と考えられる。
来年以降もさらなるエコ車の販売台数増に向けて努力する。

10) 低公害整備

基準年比&目標比に対し大幅な増。
メンテナンスパック付帯に注力してきたことが大きな要因と考えられる。
引き続きエコ整備台数の増加に努める。

11)入庫台数

販売台数や低公害整備が増えているが総入庫台数は目標未達という結果。
入庫台数は昨年とほぼ同数なのと基準年比とも同数なので、キャパシティで見ると、
ここら辺が限界なのかもしれないと考える。
作業効率を上げ少しでも入庫台数を増やせるよう努める。

7.環境関連法規の違反・訴訟の有無



1、環境関連法規

最新確認日 2024/9/30
適合状況確認日 2024/9/30

環境関連法令	法令要求事項	法令適合状況
騒音規正法	・特定施設の届出(工場コンプレッサーの定格出力3.7kwの為対象外)	—
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・収集運搬業者との契約内容	適合
	・処分業者との契約内容	
	・収集運搬、処分業者の許可証確認	
	・保安基準の遵守	
	・マニフェスト管理の遵守	
	・マニフェスト管理簿の遵守	
	・管理表交付等状況報告書の提出	
自動車リサイクル法	・廃棄車両の適正処理	適合
消防法	危険物の届出	適合
下水道法	・基準に基づいた排水管理	適合
	・油水分理層の清掃及び点検	
	・汚染状態を測定し結果を記録する義務	
フロン排出抑制法	・エアコンの点検	適合
家電リサイクル法	特定家電用機器の廃棄	適合

2、違反、訴訟の有無

当社は、環境関連法規の違反や訴訟は発生しておりません。
また、環境当局からの違反等の指摘はありません。
外部からの苦情はありません。

8.代表者による全体の評価及び見直し



対象事業所	株式会社マツダアンフィニトミセキ
活動期間	2023年10月1日～2024年9月30日

作成者		EA21推進事務局 五十嵐 万人	
見直し 関連情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	☒ 実施 ☐ 未実施	特になし
	2 環境目標及び目標達成状況	☒ 実施 ☐ 未実施	原単位評価から絶対値評価に変え、エネルギー使用量の比較が明確化され、改善部の改革が立てやすくなった。
	3 環境活動計画及び取組実施状況	☒ 実施 ☐ 未実施	取組実施状況においては朝礼時に確認しあう時があるが、細かく計画について話し合うことが無いためその機会を設ける。
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	☒ 実施 ☐ 未実施	特になし
	5 外部コミュニケーション・対応記録	☒ 実施 ☐ 未実施	特になし
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 実施 ☐ 未実施	特になし
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	☒ 実施 ☐ 未実施	特になし
	8 その他	☐ 実施 ☒ 未実施	特になし

評価者	専務取締役 長沼成人	実施日	2024年11月1日
-----	------------	-----	------------

全体評価・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等)

設備的な改善による効果に加え、例年以上のエネルギー削減意識の徹底により、多数の項目で目標達成できたことに手ごたえを感じているので、引き続き削減意識の徹底により可能である項目は削減に努めるよう指導して行く。達成できなかった項目に関しては、会議等で対策や目標の再検討に加え活動案の意見交換を活発に行っていく必要性を感じた。伸びしろや限界値が再確認できた中で来年度の取り組みに向けて指導していきたい。

代表者による 全体評価・見直し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境方針	☐ 有 ☒ 無	
	2 環境目標	☐ 有 ☒ 無	
	3 環境活動計画・取組項目	☐ 有 ☒ 無	
	4 実施体制	☐ 有 ☒ 無	